事例No.	1938
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	和歌山県太地町

事例区分	公営企業

タグ	・観光施設事業 ・公共施設活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	民営化等

事例内容・タイトル

太地町国民宿舎「白鯨」事業の民営化

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【和歌山県太地町】
太地町国民宿舎「白鯨」事業の民営化

民営化等 **観光施設事業**

和歌山県太地町総務課

● 取組の概要

町の財政負担の削減及び観光振興の継続を実現するため、国民宿舎を民営化した。

◆総事業費　9,998千円（会計廃止後の精算費用）

◆背景

- 太地町の国民宿舎では、施設の老朽化により改修費用が増加するとともに、観光客数の減少等の影響により収入が減少し、平成11年度以降赤字を計上しており、一般会計からの繰入金に依存する状態が続いていた。
- この課題を解決し、町の財政負担を軽減するとともに、観光振興を継続するため今後の施設のあり方について検討することとした。

◆具体的内容

- 宿泊施設として10年間の営業継続及び当該期間における決算の町への報告を条件に、民間事業者へ施設を譲渡し、民間事業者による運営を行うこととした。

◆効果

- 一般会計からの繰入金が削減された（19,947千円／年）。
- 民間ノウハウの活用によるイベントの開催や自社HPの開設等によって、サービスを向上し、観光振興に寄与する施設として継続することができた。

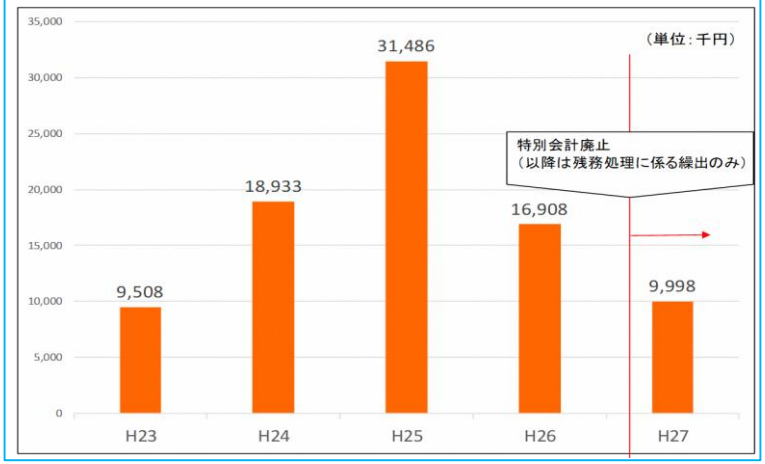
● 取組のポイント

- 公営企業会計の適用によって財務状況を正確に把握、共有できたため、速やかに抜本的改革（民営化）を行うことができた。
- 民営化の方針についての住民理解を得るために、町議会議員、住民代表及び担当課長からなる検討委員会を設置した。
- 民営化の方針についての議会における円滑な審議のために、委員会の正副議長が検討委員会の委員を兼任した。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　2,939人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　5.81km²（令和4年1月1日時点）
- 年間宿泊者数　5,761人（平成26年度決算）

一般会計からの繰入金の額



● 取組のスケジュール

- 平成25年9月から協議を開始した。
- 平成27年1月に施設を売却した。
- 平成27年4月に民間事業者による運営を開始した。

● 今後の展望

- 売却時の条件とした10年間の営業の継続期間の終了後も、営業を継続してもらうために必要な対応を検討していく。